

焼津市立総合病院における 「嘔吐前の腹痛」の急性虫垂炎の診断能に 関する後ろ向き研究」について

急性虫垂炎は小児の中で腹痛を呈する代表的な疾患です。外科的な治療が必要なことも多く、画像検査が発達した現在でも診断が難しい疾患です。小児期の急性虫垂炎は穿孔など重篤化することがあり、特に早期の診断が求められます。その中で、嘔吐より前に腹痛があるという症状は急性虫垂炎の可能性が高いとして昔から診断の参考に用いられてきました。しかし、その根拠は乏しく、今回は画像検査が発達した現在における「嘔吐前の腹痛」の急性虫垂炎の診断精度を検証することを目的としています。

この研究ではこれまでに行われた検査や治療内容のデータを使いますので、患者さんの負担はありませんし、今後の治療方針にも影響しません。また費用の負担もありません。なお、この研究は、焼津市立総合病院倫理委員会の審査を受け、焼津市立総合病院長の承認を得て行っているものです。

1.研究の対象

2013年3月から2021年3月までに腹痛と嘔吐を症状に当院を受診した15歳未満のお子さんを対象としています。

2.研究の目的について

この研究では2013年4月から2021年3月までに腹痛と嘔吐を症状に当院を受診した15歳未満のお子さんを対象に、診療録を元に「嘔吐前の腹痛」の急性虫垂炎の診断精度を検証することを目的としています。

3.研究の方法について

この研究では2013年4月から2021年3月までに腹痛と嘔吐を症状に当院を受診した15歳未満のお子さんについて、性別、年齢、腹痛の有無、嘔吐の有無、嘔吐腹痛のいずれが先行していたか、Alvarado Score、Pediatric Appendicitis Scoreの各項目、最終診断、血液検査結果(白血球数、好中球数、CRP)、診療録IDなどについて、診療録から情報を収集します。

4.研究期間

この研究の期間は、焼津市立総合病院倫理委員会の承認日から2023年3月31日までです。

5.予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

6.プライバシーの保護について

利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態でとり扱われます。研究成果は学会、論文等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。

7.研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

8.研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。

9.お問い合わせ先

実施機関名：焼津市立総合病院 小児科

担当者氏名(所属・役職)：北岡 寛己(小児科医員 研究代表者)
熊谷 淳之(小児科科長 研究責任者)

電話番号：054-623-3111(代表)

受付日時：平日8:30-17:15